

手しごとさんの作品展 春夏秋冬

～ パッチワークキルト・編み物小物いろいろ ～ 糸と布と SDGs



昔、人々は植物や動物の毛などから糸を紡ぎ、布を織ったり、物を編んだりしてきました。布がボロボロになると使える箇所を切り出し、それらを縫い合わせて再利用した継ぎはぎの一枚生地を仕立てました。

布が貴重だった時代に先人が編み出したスーパーエコの精神がパッチワークの歴史の始まりです。

そして、布と布の間に綿を詰めて一枚の生地にしたほうが、ただ布と布を重ねるよりずっと温かいことを発見しました。人々の生活に寄り添ってパッチワークキルトは、進化し、発展してきました。

糸を使った編み物も、セーターや手袋、帽子などを作り、サイズが合わなくなったり、穴があいたりすると、糸をほどこき、また次の編み物に作り替える。モノが貴重だった時代。一つのモノを大切に、知恵と工夫と、使う人を想う…手仕事(ハンドメイド)の作品は人の心を和ませ、ホッと温かくしてくれます。



～ SDGs12 つくる責任 つかう責任

